



災害関連情報、歴史資料や地形・ 地質・治水情報の見方・調べ方

大里重人 地盤品質判定士 (株)土質リサーチ代表 (委員会幹事) 15:50~16:20



なんで、「歴史資料や地形・地質・治水情報の見方・調べ方」？

- ▶ 講演を聞くだけでなく、自分で調べてもらいたい！
- ▶ 「人と水害」の共存方法を考えてもらいたい！
- ▶ 一人でも多くの人を守りたい！
- ▶ 治水・利水って何か知ってもらいたい！
- ▶ etc



そのためには、正しい情報の入手方法と情報を使う知識が重要！

いくつかの思い

街歩きや、講演会、あるいは説明会で 良く言われたこと！

- なんとなく不安！・・・怖い・・・でもどうすれば良いかわからない！
- どこに逃げればいいのか？
- 専門用語など、言葉が難しい！→メディアでも、たまに間違った使い方をしている。
- ハザードマップなどの見方が解らない！
- ここって危ない？地震来る？etc



いずれも情報不足や知識不足が生んだ疑問！



私の講演のストーリーは？！

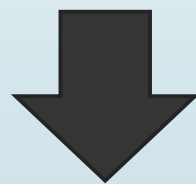
3つの大きなテーマ！

1. 情報を調べる場合、使う場合の考え方、基本
2. 情報の入手はどこで？
3. 情報を確保するための課題は？

1. 情報を調べる場合、使う場合の考え方、基本

過去と現在では情報の発信スピードと情報量が大きく異なる！

- ▶ 絶えず変わる情報！
- ▶ 正しい情報か否かの判断！
- ▶ 重要度の判断！



情報の取捨・選択

TPPOで、必要性が変わる情報

■ T : Time → どの時点の情報か？

(予防・緊急対応・応急対応・復旧・復興)

■ P : Position → あなたの立場、役割など

■ P : Place → あなたが必要としている情報の地域

■ O : Object (purpose) → 必要とする情報の目的



情報がある場所や、入手方法、利用法が異なる！

1. 情報を調べる場合、使う場合の考え方、基本

まずは、**T!** : どの時点の情報か？

Time Lineで考える!

- ▶ 予防→素朴な疑問! →この辺は、危ないところなんだろうか? 災害の歴史や被災頻度は? この辺の地形はなぜできた? 災害対応はできているのだろうか? 逃げ道はあるのだろうか? 備蓄は? 気象情報は? 水位情報は? 斜面等の情報は? 災害地域指定はされているの? 災害保険は、あるの? etc
- ▶ 緊急対応→どこにどのように逃げる? どこに逃がす? 逃げられそうもないけれど、どうする! どのように助ける? 誰に助けを求める? **事前に関まっていなと対応できない! 被害予測の知識が必要! →ハザードマップ**
- ▶ 応急対応・復旧対応→被災した? していない? どのように生活する? 直せるの? 資機材は? 誰が直すの? お金は? →**保険・救助法・基金融資等の知識**
→BCP (ビジネスコンティニューイティプラン: 事業継続計画) ・BCM (ビジネスコンティニューイティマネジメント: 事業継続管理) →平時からの体制が重要)

1. 情報を調べる場合、使う場合の考え方、基本

Time Line ってなに？

災害を時系列で考える！情報ニーズは時間で変わる！



2. 情報の入手はどこで？

そして、PPO！：誰のための、どこで、どのような目的の情報か？探す対象と情報がありそうな場所考える！

- ▶ 個人なのか？企業等の組織なのか？行政なのか？・・・etc
- ▶ あなたの、あなたの組織の、住んでいる場所・立地している場所は安全？危険？
行政から入手、古典籍等過去の資料、足で歩いて・・・etc
- ▶ 緊急対応時のニーズと目的➡どこにどのように逃げる？どこに逃がす？逃げられそうもないけれど、どうする！どのように助ける？誰に助けを求める？避難路の状況は？
▶ **事前に決まっていと対応できない！場合によっては臨機応変な対応！**
- ▶ 応急対応➡避難場所や避難所の状況は？、復旧状況は？支援情報は？

文京区の水害ハザードマップ（行政からの情報と古典籍での裏付け）



畧之
一享保十三年中九月朔日ヨリ強雨翌
二日之至テ風雨強洪水牛込小日向小
石川邊家ノ林迄水附本庄下谷邊
大水人馬之水死不知數所ト大橋
共不殘落ニ

自家年譜

古典籍に見る
江戸時代
小日向周辺の水害
例

- 享保13年 (1728)
- 寛延2年 (1749)
- 明和3年 (1766)
- 安永8年 (1779)
- 天明3年 (1783)
- 天明6年 (1786)

森山孝盛 自家年譜：国立公文書館
URL: <https://www.digital.archives.go.jp/das/image/F100000000000053019>

水にかかわる災害碑、伝承地（歩いて探す）

がけ崩れ改修碑



漂着信仰（浅草観音）



寛政高潮碑



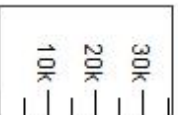
破堤碑



治水碑



元禄津波碑



3. 情報を確保するための課題は？

情報入手ができない場合は？

▶ たとえば、34年前の昨日！

➔ 1984年11月16日午前11：50「世田谷ケーブル火災」



電電公社世田谷電報電話局近くの専用トンネルで、増設工事中の電話ケーブルから出火



加入電話約8万9000回線及び各種通信回線が不通（119番通報、ATM等も使えなくなる）



情報錯綜！救助情報の連絡不能、金融機関の取引困難、etc



通信確保をどうするか？！電源確保できないと・・・

避難所に避難するのは、情報に接するためでもある！

- ▶ 避難所の役割➡①安全の確保、②情報伝達
- ▶ 避難所の情報と避難してからの対応は、事前に入手しておく必要がある！
たとえば、文京区では避難所開設キットが整備されつつある！
文京区の場合、既存キットを職員の意見でマイナーチェンジ！
http://www.city.bunkyo.lg.jp/var/rev0/0148/5039/300219_saitai_3.pdf
<https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/chiiki/bousai/hinanjyo/kyoten.files/kid.pdf>
- ▶ 情報の入手経路や手順などは、各地域・個人で事前に決めておく必要がある！

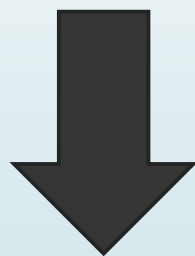


普段から、さまざまな災害情報に接しておく、知識を得ておくことが重要！



それでは、情報を入手してみよう！

▶ エクセルシートで示す情報種別事例



エクセルリンク集で講演時間の終わりまで実践説明！